東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学新聞会
発行人　岡田　勉
男子部
新宿区柏木4の600
TEL（37）2311
女子部
台東区上野桜木町31
TEL（82）4004

純喫茶
シネラマ音響で
醒いの一時を
会合等に御二階を
御利用下さい
ボン
東中野駅
交番口並び
TEL（36）1839

国試合格率・全国平均72%強

＝第十四回国試（学説）合格者発表さる＝

問題内容 高度化の傾向へ

去る四月三日に全国七ヶ所で行われた第十五回薬剤師国家試験の合格者が五月二十日発表された。（号外既報）

それに依ると

▼全国出願者数三、二八七名（三、九五一）

▼〃　受験者　三、二五一名（三、八八七）

▼〃　合格者　二、三四三名（二、四〇三）

▼〃不合格者　九〇八名（四四四）

で合格率は七一・〇七パーセント（八三・二パーセント）となっている。

（　）は昨年度

地域試験場別の合格率を見ると長崎、金沢、大阪が七〇パーセント台、札幌、東京が六〇パーセント台、仙台が五〇パーセントという成績で最高点者は八十五点（百点満点中）であった。

次に各薬科大学の内で大体判明している合格率を見ると、

本学男子部　八七・二%
〃　女子部　八九・四%
昭和薬大　六二・七%
岐阜薬大　七七・〇%
星薬大　七三・三%
東北薬大　五〇―六〇%
東邦大薬学部　六〇%台
共立薬大　九〇%台
千葉大薬学部　未詳
明治薬大　六〇%台

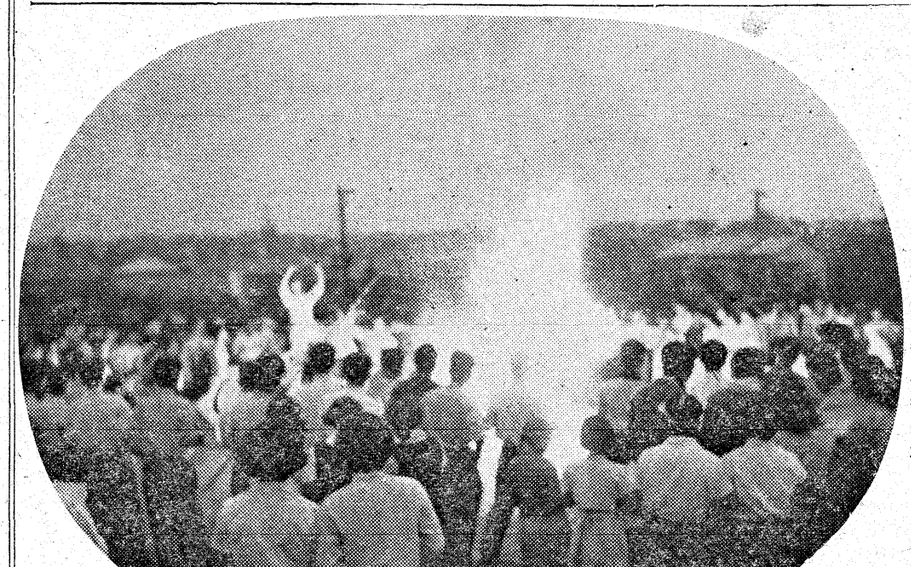
でいづれも昨年度合格率を下廻る成績となった。

合格率が昭和二十五年の五九%に次ぐ不成績に終ったのは今年度から実施された採点基準の引上げ（十六課目中一つの課目でも零点又は他課目と比較して低い点をとった場合不合格とする）と選択制廃止（十六課目から出題して受験者の選択を禁止する）にあり、一月中旬に行われた全国薬科大学々長会議でも相当議論が行われ、国試内容の変更はその必要なしとする意見も可成りあり、薬剤師試験審議会側も打出した方針を実施するのに動揺を見せたが結局厚生省の意向通り実施の運びとなったものである。なお本年度の国試で昨年度卒業生の合格率が各大学共に悪くこれからの国試受験は卒業年度で学説、実地を共にとらなければならなくなる事を示すものとして注目される。

なお、国試問題の全般的傾向について、問題は必ずしも難かしくはないというのが本学教授の一致した意見であり、受験者が可成り難かしかったというのはあたらないとしている。唯、応用問題が増加したのは学生としてもその方を理解する必要があるとしている。又稀暗記は避ける事、基礎的知識は絶対理解して目新しい知識を過当する事のない様にする事、大体以上の事を要望した。

なお国試実地試験は七月十二十三両日東薬女子部を含む全国八ケ所で薬品分析学及び調剤学について行われ、合格者氏名の発表は八月十二日に行われる旨厚生省より発表された。

松尾試験審議会委員長談「採点法に若干変更はあっても、比較的好成績であった。薬剤師の職責からいって試験が徐々に高度化するのは止むを得ない所で、来年からの受験者は充分準備する必要がある」



体育祭

力強い若人達の祭典

ファイア ストーム に青春を謳歌す

友愛無尽祖に報ゆる

この日は前日に引き続いての好天気で、九時開会式が行われ、開会宣言、学長挨拶、女子部部長、運営委員長挨拶、競技についての注意、全学生による準備体操などがあった。

この日は好天気の上、風が少々強く吹いていたので、グランドはしばし白もあげられないくらいの猛砂塵が黄色に空を染め、また走るコースは穴ぼこだらけという、けっして良いグランド・コンジションではなかったが、最初の時間のおくれも進行係の手さばきのよさですぐとりもどしスムースに行われ、常に学生らしい若い空気がただよっていたのは好ましかった。

第二部は十二時頃から始まり、いろいろ多種多様の競走が行われた。去年は行われなかった県人会対抗リレーなども、同県人間の親睦をはかるという点においてなかなか大きな役割を果して結構だった。また、学年対抗リレーなども同じようなことがいわれると思う。仮装行列は、庭球部と野球部わずか二部の参加であったが、なかなかどちらも趣向をこらしたもので、特に一等になった庭球部の〝第四回アジア大会〟は去る六月一日に終ったばかりのアジア大会を再現させてくれ、見に来ていた子供たちは、仮装したインド選手の赤いターバンがめずらしいらしく、うしにそろそろついて歩くというなごやかな風景もみられた。第三部は、男子部体育会によるタニシ踊りが行われ、その後成績発表および表彰があってからファイア・ストームが点火され、薄く暮れゆくグランドでファイア・ストームを囲んで男、女学生によるフォーク・ダンスが楽しく行われた。それが終ってから火をかこんでの学生達の歌声は明るく響き、七時三十分頃無事終了した。当日の各競技の成績は次のとおりであった。

◇クラス対抗決勝

男子部
柔道　4甲―4乙○
ラグビー　2年―4年○
テニス　1乙―3甲
バレー　4乙―1甲○
籠球　3乙―1甲○
卓球　2甲―4乙○
ソフトボール　2甲―4乙○
女子部
テニス　3年―2年○
バレー　4年―3年○
籠球　3年―2年○
卓球　3年―2年○
ソフトボール　4年―1年○
◇団体競技
ボール転がしリレー　一位4年　二位1年
二人三脚リレー　一位4年　二位1年
学年対抗リレー　一位1年　二位2年
一位3年　二位2年
風船割り騎馬戦　4年―3年○
2年―1年△
◇個人競技
女子百米　①3年　②4年
男子二百　①2年　②1年
男子四百　①2年　②1年
◇総合成績
一位4年　二位1年　三位2年
四位2年

男子部――女子部

駅伝許可おりず

当落

〝しっかりしたまえ〟、
〝どうもすみませんでした〟。

――理事長
――浪人組

東薬戯評

又無試国

薬味

◆年間二天行事の一つである体育祭も終った。この祭典を通じて我々学生の間に親睦がはかられた事は、大変有意義であったと思う。しかし、この体育祭を反省してみる時、我々は、学生一人一人の自覚の足りなさを痛感せずにはいられない。

◆まず第一に、集合状態の悪い事が挙げられる。開会式に於てすら三分の一程の出席数だ。又この時「最後迄、紳士淑女たる事を忘れずに」という意味の言葉が、委員長の口から発せられたのにも、大きな衝撃を受けたような気がしたが、今年初めてというファイアーストームに及んで、この言にもかなりの裏付けのある事が判明したそれというのは、X部（男子）の或者は、アルコールの勇いも手伝ってか、身勝手な振舞をし、合唱の統制、秩序を乱したという事実である。

◆ファイアーストームは、あくまでも大会の総まとめとして、意義があるのであり、会員が一つの指揮の下に行動してこそ成功したといえるのではないだろうか。

◆競技の方面では、進行の手順がスムースでなく、競技間のまが延びすぎたようだ。それを縮めて、昼休みにでも当てたら有効であろう。参加選手に同じ顔ぶれが多いのも難点である。

◆考えるに、体育祭は、我々自身のものであり、これに臨むというのは学生の特権である。この機会を大いに活用し、日頃のうっぷんを晴らすのも良い。実験室でこつこつ研究するのも大切だが、健康的に青春を楽しむため、すべての人が体育祭に参加すべきである。

◆例年のことながら、先生方の参加が少ないのは淋しいことである。

◆最後に、東薬祭運営の機構にふれると、体育祭の委員長にも、当日初にお目に掛った次第で、どことのように、出場種目、日時等々の事が決定し、如何に事が運ばれて行ったのか、新入生には、まるで連絡がなく、只機械的に選手を出したに過ぎない。協力をするといっても、何に協力をしてよいか分らないのでは、低調にならざるを得まい。「年生のフレッシュな感覚を何等かの方法で、取り入れてほしかった。又一年生に対する対策を充実せず、初めから学内行事に関心を持たせる事が肝要であろう。

◆たいな薬味がきき過ぎたが、何はともあれ、一生懸命働いて下さった諸係者の労をねぎらいたい。

会告

次号は関東薬系五大学新聞会の共同編集による「共同新聞」第二号を七月一日に発行する予定です。

なお本新聞に対する希望、意見がありましたら、御遠慮なく申出でて下さい。

授業に対する反省

論説

薬剤師国家試験（学科）の合格者が過日　原生省より発表された

薬科大学四年間の修養によって合格するのが当然の様に思える。今回から試験科目の選択制が廃止されたという点もあろうが、一寸首をかしげざるを得ない成績であった。

国家試験にはいわば四年間の総決算ともいうべきものであり、その成績が悪いという事は、我々の普段の努力が足りないとしか言えない。

確かに我々の授業に対する態度には、一考を要するものがある。最近出席制度の強化から各授業に対する出席率に良くなつたものの、一利一害の状態である。

授業中の騒がしさ等は後者の口である。出たくない講義にも、唯出席率を良くするの為にのみ授業に出、雑談をして一時間を終る。真面目に出席している人々に与える悪影響は少れ程であろうか。

大学での学問は、自ら進んで行うものであり、出席制度に縛られて無理矢理授業に出席するという傾向は、原生省いい。然し学校側としても好んでその様にしている訳ではない筈である。

学校側をして、出席制度強化という線に到らしめたのは何んであろうか。それは、我々側に責任があるのではなかろうか。

我々の授業に対する熱意の無さが起因している。授業に出なくてもそれ相応の効果が上がっているならともかくまったくその個向が現れていない。

出席でも取ちない事には、一体何をしに学校に来ているのか解らない。

我々としても大いに反省すべき点が数多くある。それを抜きにして出席制度がどうのこうのと云えたものではない。

執行委員会に望む

五月下旬、難行を重ねていた男子部執行委員長も漸く決まり、活動も軌道に乗らんとしている。

新執行委員会発足と同時の予算審議会では、ヨロメキ執行部といわれながらもどうやらその難事業も乗り切り後残された十余ケ月の執行部の活動に寄せる我々の期待は大きなものである。

本年度執行部の活動予定を見ると、盛沢山を新企画が織込まれている。然しそれがどこまで実行に移されるかは疑問であるが、その意気込みで進んで頂きたいものである。

自治会活動に限らず、学術祭、体育祭、文化祭等の行事に於いて、一般学生の無関心さは、どうしたものであろうか。過日行われた体育祭に於いても参加人員は、普段の授業以下たった様に見受けられる。

本学に於ける年中行事ともいえる学術祭、体育祭、文化祭等の企画、実施でその任にあたった人々の苦労、努力は、いかばかりであろう。運営の任をあつかった人々は、全学生の参加の下で尊々しく東薬の祭典としたいと念じ、その様に啓蒙している訳である。

然るにそれが、部活動・自治会活動に参加している一部学生のみの祭典の様な個向がある。

新執行委員会では、学生の自治活動に対する関心を深める為の行事を考えているということを聞いているが、大いにけつこうなことであり、それ等により、一部学生のみの自治活動から全学生の自治活動へと踏み切ってもらいたい。というよりも、それにより一般学生が自治活動に注目して頂きたいのである。

執行部としても、唯マンネリズム的に任期を満了するというのではなく、新企画実行に全力を注ぎ全学生から信頼され執行委員長決定がおくれたため

男子部

学友会予算大巾に増す

◇◇各クラブ予算決まる◇◇

男子部

各部とも運営面で支障をきたしていたが、六月十二日頃までに各クラブの予算が内定、後自治委員会の承認を得るのみとなった。

去る五月二十三日予算委員会において、学友会費三千九万円が決まり、引続き五月二十七日より二十九日まで学友会予算審議会が開かれた。

各部の昨年度及び今後の活動について説明後、活発な討論に入った。五月二十九日質疑応答後、学術部案として体育二十二万学術十二万文化五万、体育部案として体育二十五万学術八万文化部案として体育二十三万学術八万三千文化七万八千の三案がだされ提案理由の説明後、激しい意見の交換がおこなわれた。

しかし各三部とも折り合いがつかず進行の行きずまりを見せたため、執行委員会より各三部の納得のゆく金額を考慮した結果、調停案の形として学術十万、体育二十三万、文化六万の案が提出され、しかし各三部を納得出来ず流会となった。

六月四日再会、すぐ採決に入り執行部案を賛成二十八反対六棄権三票で可決。

その後クラブ予算が決まり、自治委員会に承認を求めている。

以下その内訳を示すが、この数字は最終的なものではない。

総額　十万

学術部
衛生裁判化学研究部　二万
化学研究部　二万
植物研究部　二万
製剤部　二万
生物研究部　二万
微生物研究部　二万
分析部　二万
薬局研究部　二万
総額　二十三万

体育部
野球部　三万
山岳部　二万
卓球部　二万
庭球部　二万
籠球部　三万
柔道部　二万
排球部　二万
総額　十七万

文化部
演劇部　三万
音楽部　二万
華道部　二万
カトリック研究部　二万
キリスト教研究部　二万
写真部　二万
書道部　二万
ドイツ研究部　二万
美術部　二万
舞踊部　二万
文芸部　二万
登山部　二万
計　一八九三〇

排球部　三〇〇〇
籠球部　四八〇〇
計　七二三〇

文化部
演劇部　一八〇〇
音楽部　一四〇〇
華道部　一〇〇〇
カトリック研究部　六〇〇
キリスト教研究部　一〇〇〇
写真部　一〇〇〇
書道部　六〇〇
ドイツ研究部　九〇〇
美術部　八七〇
舞踊部　一四〇〇
文芸部　一六〇〇
計　九六〇〇

体育部
野球部　一八〇〇
山岳部　一七〇〇
卓球部　一四〇〇
庭球部　一九〇〇
籠球部　二四〇〇
柔道部　一六〇〇
排球部　一〇八〇〇
計　一七七九〇

購売部設置延期さる

女子部

女子部執行委員会では、購売部設置の問題に関して、かなり前から、考慮していたが、全学生からのアンケートの結果をもとにして、販売方法等相当具体的な案をまとめて学校側の意見として、適当な場所がないこと、及び外部から商人を入れることはもうしばらく見合せてほしいとの理由により、購売部設置の問題は一応延期されることになった。しかしパンと牛乳の販売については、厚生部の手で行うことを条件として、学校側から許可を得ることが出来たので、六月一日から、学生控室の一隅において始められた。売れ行きは非常によく、連日およそ百二、三十人の学生によって利用されている模様である。販売方法については、執行部で学生アルバイトを募集して販売しているが、なれない仕事であり、また軌道に乗っていないので、是非全学生が協力してほしい。又パンの販売に対する希望があったら販売場横の投書箱を利用して遠慮なく意見を述べてもらいたいとの事である。

糖尿病

内服治療薬
ヘキスト ラスチノン
ドイツ直輸入薬
¥1,000　¥1,800　全国薬店にあり
呈示書送呈　説明書
★医師の指示によりご使用下さい
興和新薬・東京日本橋本町

ペン字通信教授

指導　金井健鈞
肉筆手本（男女別）直接指導
東京ペン字研習会
東京西多摩郡五日市町一〇二〇
一切無料で
ペン習字講座を！
指導　金井健鈞
〝わかくさ〟年四回発刊
全国八万突破
主催、販扱パイロット万年筆取扱店へ
（詳細は直接右記又は三年金井通子迄）

薬学双書

最新最廉の薬学教科書　全23巻30冊

編集　東大教授　明石二郎　東大教授　野上寿　千大教授　高木友二　京大教授　宮木鈴二　東大講師　柴田承二

1	無機薬化学	千大教授	三宅良一
2	有機薬化学	北薬大教授 東阪大助教授 東静大薬大教授	藤原鎮男 栗谷川虎 林英 三民恭一郎 三作 上640・中下
3	薬品分析学	東薬大教授	長瀬雄三 上下760・
4	生薬学	北大教授	三橋博 700・
5	生薬化学	神薬大教授	橋本庸平
6	衛生化学	衛生試験所	川城巌 上450・下500・
7	裁判化学	警察庁科学捜査研究所	西山誠二郎
8	公衆衛生学	公衆衛生院	孟田太郎
9	生化学	京大教授	鈴木友二 上下
10	動物性薬品化学	阪大助教授	青沼繁 420・
11	微生物薬品化学	千大教授	宮木高明
12	無機薬品製造学	九大助教授	西海枝東雄
13	有機薬品製造学	北大教授	伴義雄
14	生理及び解剖学	千大教授 / 大教授 / 大教授	鈴木正夫 / 渡部士郎 / 大平
15	薬物学	千大教授	上鵜三郎 上下
16	薬剤学	共立薬大講師	久保文哲 上下580・
17	新薬論	阪大教授 / 厚生省薬務局	羽野寿雄 / 江本龍
18	公定書概論	東大講師	福地言一郎 420・
19	薬事並に衛生法規	厚生省薬事課	久万楽也
20	薬業経済	薬業経済研究所長	常松巳一
21	薬学のための化学工学	東大教授	福田義民
22	薬学及び化学英語	東大薬学部	溝口歌子
23	薬学及び化学独語	三楽病院薬局長 / 吉富製薬・バイエル薬品部	不破龍登代夫 / 林一

TEL 92―2181　東京都文京区本郷6―20　振替東京 96693　医学書院

木村・相良 独和辞典

木村謹治　相良守峯　共編

最も手ごろな形態の中に、最も豊富な内容を収め、活用の広いことは大辞典に匹敵！斯界の権威をこの一つに集めているのも正しい世評の現れであって偶然ではない。

A5判・函入　二、六五〇頁　価三、〇〇〇円　〒七五円

木村・相良 大独和辞典

木村謹治　相良守峯　共編

菊判函入・総クロス・一、五〇〇頁　二五〇〇円　〒一〇〇円

特価二、二〇〇円

我国独逸語界における最新・最初の独和大辞典！―六月発売―

和独大辞典

木村謹治

菊判函入・一、六〇〇頁　価一、八〇〇円　〒一〇〇円

相良守峯編 大独和辞典

東大名誉教授　文学博士　相良守峯

菊判函入・総クロス・一、八五〇頁　価二、二〇〇円　〒一〇〇円

東京新宿区揚場町（飯田橋際）九　博友社　振替東京 2240番

薬局方注解

津田恭介・吉田茂共著（内容見本送呈）

改4版

A5判1006頁上製函入　価1700円　〒55

東京文京区春木町　南江堂　振替東京 149
京都中京区寺町通　振替京都 5050

医薬品合成化学

津田恭介・吉田茂共著（内容見本送呈）

A5判・五三〇頁　価九五〇円

主要な医薬品の化学構造、合成法、性質、用途など三七四品目につき簡潔にまとめ上げたもの。薬学専門の教科書として、また現業各位の手引書

化学実験操作法 続（II）

緒方章・野崎泰彦共編

B5判　価八五〇円

新農薬研究法

山本亮監修

B5八〇〇頁　価二、八〇〇円

植物成分分析法（上）

山口一彦著

B5五八〇〇頁　価一、八〇〇円

カウンターカーレント

E・ヘツケル著　次田・沢田訳（向流分配抽出法）

A5二四〇頁　価六五〇円

薬学通論

東大教授　小沢光
高木敬次郎

A5六九六頁　価七〇〇円　〒六〇円

生薬学

東大助教授　藤田路一著

B5四〇〇頁　価一三〇〇円

薬物学

上巻　下巻

初版　2版

醗酵化学

田中穣　倉田浩著

薬学領域の

新刊　新刊

A5二一〇頁　価四八〇円

裁判化学

九大教授　塚元久雄
奥井誠一著

新刊

A5二八八頁　価五〇〇円

化粧品学

理学博士　池田鉄作編

2版

A5二一八頁　価四〇〇円

美容の科学

安田利顕　細田文二郎

初版

A5四〇六頁　価九五〇円

学術祭はこれでよいか

多い統一テーマ希望

学術祭が去る五月十一日閉幕したが、良いにせよ悪いにせよ関係した学生諸君に敬意を表する。

それとは別により以上の発展を期すために反省することは無意味ではない。東薬祭はこれでいいのかという声がよく聞かれるが、我々学生の皆んなで考えて見たい。

なおこの特集を出すに当っていろいろと参考意見を聞かせて戴いた教授及び一般学生に深く感謝し、苦言が前進の足がかりになるように祈る。

今年の学術祭はあまり盛況でなかったという声が学内において聞かれる。と云っても別段去年と見劣りするとも思われないがとかく云われているようにマンネリズムと云う二つの殻に閉じこもった感のある学術祭が、殻を破って新しい方向に発展するだろうという期待がさてふたを開けて見るとその殻をますますかたくした傾向に期待を裏切られたというのが一般の意見のようだ。以下一般的に見た不振発だった理由をひろって見る。

まず天候が悪かったため本学生を除いての一般観覧者の数は数百人といった様に案外の人出だった。この事は運営委員会宣伝部の責任もあると思う。

又後で述べる東薬祭の目的にも関連するが、一応一般の人に見て戴きたいのならそれなりの宣伝方法はあると思う。

もちろんテーマにも関係し、交通の便にも関係することでもある。しかし盛大と云えない大きな理由として、本学々生及び学校側の全面的協力がなかったことである。実際学術祭はむずかしくてわからないしつまらないと云う声が聞かれる。

学術部が主になっている関係上学術的な祭になるのは当然であるが運営委員会としても一考を要する問題である。

その点で永田隊長、荒木隊員等の商極講演会は好評だった。

ここにも学術祭を学術部員だけの祭りより全学生的にする糸口があるここで我々は東薬祭の目的たるものを再検討してみる必要があると思う。

まず目的と考えられてきたものに薬学の啓蒙、東薬の宣伝、学術部の発表機関、又発表の対象を一般の人にするか、ある程度の予備知識のある人に置くか等のようである。最初に薬学の啓蒙であるが、云いかえると薬科大学はどんな事をしているのか知ってもらうことであり、東薬の宣伝にも関連する薬学とはどんな学問であるかわかってもらう事は薬学生自体明確に言及出来ない現段階としては、学術祭に発表した各クラブの成果を見て薬科学ではこんな事をしているのかと関接的にわかってもらうより方法がない。次に東薬の宣伝である。これは学術祭当初の目的だったけれど、今では学校側と現段階としての目的に合っていると考えられるのは学術部の一年間の成果を発表する機関と見ての東薬祭である。

しかしこの対象を一般の人に興味のあるものにするか、学術的なものにするかの二つの意見がある。

現段階としてはどっちつかずの中間的色彩が濃い。

しかしこの目的のみでは学術部だけのものになりその人達で楽しんでいる結果になりやすい。

以上目的についてのべてきたが、今度はこれからの有り方について検討して行きたい。

統一テーマの問題があがっているが、学術部員及び一般学生において

【写真】モチーカ文化人面壺

インカ展を見て

五月八日より十八日まで、伊勢丹でインカ帝国文化展が開かれた。

インカは南米アンデスの峻嶺に文明の華を咲かせ、今なお科学の力でも解き得ぬ幾多の奇蹟、驚異、神秘を宿した人類文化史上の処女地帯である。

インカの文明は先（プレ）インカ期のアンデス諸民族の文化の集大成されたもので、海岸に高原にアンデスの雪どけ水の流れ入河川のほとりにそれぞれの地方色豊かな土器と美しい織物にその特徴があるように思われた。

土器においては、その形態、装飾、技術、は複雑多様をきわめ珍しくかつ精巧なものが多く、滑稽なもの、奇妙なもの、写実的なものと文明の高さを見せつける。

総じて北ペルーの土器は彫塑的に傾き、ペルーの南部からボリビアにかけては三色以上の彩色土器の伝統が強いようである。

また織物は乾燥地帯のため驚異な姿をとどめている。また二百種に近い色を駆使して絶妙な染色を行っている。

その他すぐれた外科知識や腐った木みたいなミイラなど一時間余の見学であった。

反省する学術祭

〝語学力が重要〟卒業生語る

女子部　就職懇談会開かる

五月三十日女子部において執行委員会主催で「就職について」と題して本年度卒業生と在学生との懇談会が開催された。出席したのは寺阪部長始め日本オルガノ商会東大および慶応病院薬局、大正製薬、興和化学、富士臓気病院薬局新丸薬局、オリエンタル写真、日本専売公社等に就職した卒業生十名、在学生五十名程で就職問題のためか四年生が多かった。まず各就職先の説明があり、製薬会社では研究室で分析調査の仕事を担当することが多いようであり病院では主に調剤で東大病院では講習会もあり、勉強する気があれば機会も多く恵まれているとのことであった。次に在学生との懇談に移り学生側から就職試験の内容、会社側の条件、在学中のクラブ活動は役に立つか等の質問に対し卒業生側から就職試験に大抵あるのは英語、その他化学、分析等、また常識問題を行う会社もあり程度は学校でやる程度で良いと思うが、語学が不得手だと就職後苦慮しられに苦労するそうであり、また条件として自宅通勤を望むこともあるクラブ活動、休暇中の病院実習もとくに病院に就職した場合は非常に後に役に立つとの答がなされた。最後に学生に望むこととして、あまりあくせくせずに学生時代でなくてはできないようなことをするこ

喜寿の東薬青春像

移転跡に女子部新設

さて、移転後の桜木校舎は、最初の計画によると土地共で売却するはずであったが、半年以上も買手がみつからず持てあましの状態であった。そこで広瀬書記長の意見により池口校長は理事会に女子薬学校の新設をはかり承認され、上野女子薬学校と名ずけて昭和四年一月十六日、特殊学校として東京市の認可を得た。

ここでエピソードがある。生徒を募集する段階に至っても肝心の職員は柏木校と兼任の池口校長と広瀬幹事の唯一人が決定しただけである。これだけでは体をなさないので財団法人の理事と顧問の名前を無断借用して要項を印刷した。そして、上野、新宿、渋谷、池袋等の駅前やその他要所々々に「開校、上野女子薬学校」の立看板をかかげ、生徒募集を開始した。

ところが願書受付を開始してから何日たっても志願者が現われない。二月下旬になっても一人の志願者もない始末、関係者は全く責任を感じて眠れない夜が続いたという。二月二十七日、ついに志願者第一号があらわれたときにはホッと胸をなでおろしたそうだ。これより若干つつの受付があり四月十五日の開校までにとにかく百九十人の志願者があり、無試験で全員の入学が許可したところ百二十名が実際に入学した。開校時の職員は講師八名、事務員一名、小使一名である。

開校となったが、設備、器具等何一つない。なにしろ上野から柏木校舎へ移転したときに庭木まで根こそぎ運び去っていってしまったのだから文字通りの無一物の空家同然である。ずいぶんチヤな話であるが、応急の処置として実験器械、器具、顕微鏡等を柏木から借りれることにして一時をしのぐことにしたすべてが臨時的の処置で事を運ぶ有様で、これを正規の体系にまで整備するのには、経営的に非常な辛苦が払われたわけであり、初代校長池口博士の苦労はなみ大抵のものではなかった。

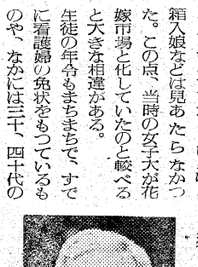
昭和五年十二月、上野女子薬学校がようやく軌道にのりかけ、定認可式が桜木町新校舎において盛大に挙行された。

当日各教室を開放して、機器、衛生、生薬着粧品学術的な催物を行い好評をえた。

上野女子薬学校として発足

生徒募集に一苦労

すべてが家族的な雰囲気



したがって当時の女子大に較べては、ある面では進歩的であったというべきであろう。

かくして、東京薬学専門学校女子部は発足したが、池口校長が〝何の気なく〟入学した人は途中で結婚してやめてしまうのが多かったという。

世間では〝真黒の服装をし眼鏡をかけて化粧もしないでしかめっつらして歩いてくるのをみたら薬学の生徒と思え〟といわれていたぐらいにヤボな服装をしていた。当時の女子部生の典型的なスタイルは、黒のヒダスカートに、白いブラウスを着て黒のネクタイを結び、黒の上着をかけて黒の木綿の靴下をはき角帽をかぶるーまずそんなところであった。しかしなかには下校時になると三千歩もかかって帽子を斜めにかぶり、鼻の頭をたたき、エンゲージリングをきらめかせて飛びたっていく華やかなグループがあるかと思えば和服に袴を着用して登校する生徒もあった。

体として非常に家族的な雰囲気にあり、四月の新入生歓迎会には二、三、四年が会費（30銭位）をだしあって全員の弁当、茶菓を用意し上級生が劇、舞踊、長唄などを披露した。面白いことに当時の社会情勢を反映してか、劇には軍隊、壮士ものが断然多く、可れんな乙女が軍装きりりとして立まわるさまは想像にあまりある。

同様に二月に行われる卒業生送別会も庶務部が主催して全校生徒がまる一日つぶして一級生を送った。

また校内のめだった行事としては学芸部主催の講演会がある。これは校外の名士を招いて年に四、五回ほど開催したがその範囲も非常に広く例えば昭和十年においては臨軍省新聞班長某大佐による「我国及び満州国を中心とする時事問題」があるかと思えば、元同志社大学総長による「女子何処に行くべきか」と修身的なもの、或は文博佐々木信綱氏（女子部校歌作詞者）による「花なき荒野ならましかば」といった古典文学的なものまであった。また「談話会」もさかんに行われた。これは弁論会と同じものであるが、「弁論会」は女性にとってはあまり強く響くので「談話会」とおとなしい名前にしたのだそうである。しかしそのプログラムをみると相当に活発であったことがうかがえる。（編集部、阿井）

【写真】上、女子部初大校長池口慶三氏下、昭和十年頃の実習風景

女子東薬会の発足

校内の団体組織としては昭和八年に女子東薬会が発足した。これは当時の男子部の校友会と同じように学生と職員卒業生からなっていた。女子東薬会には、庶務部、会計部、学芸部、植物研究部、図書雑誌部、旅行部、運動部などの機関があった。

学芸部と運動部、植物研究部等は現在の「部」すなわちクラブとはだいぶ異っており、部員はいわゆる役員であり各部は各学年より二名づつ選出された部員が、植物に興味ある学生に呼びかけて例会（主として先生の講演）を開いたり、探集旅行を行うのがその役割だった。他の部もほぼ同様であった。図書雑誌部は図書雑誌購入の他に校誌として「薬苑」を毎年発行し、教員、生徒間の親睦と一致団結をはかった。このように、各部がそれぞれ持前の計画をたてて全学生に呼びかけていたが、これには教授連が相当にタッチしていたようだ。この当時は学校全

期待される独立演奏会

二十日午代田公会堂

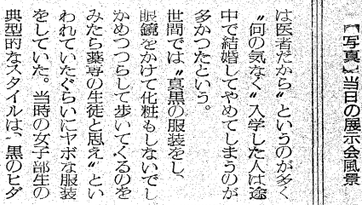
六月二十日（金）午後六時半より千代田公会堂で本学音楽部の独立演奏会が開かれる。

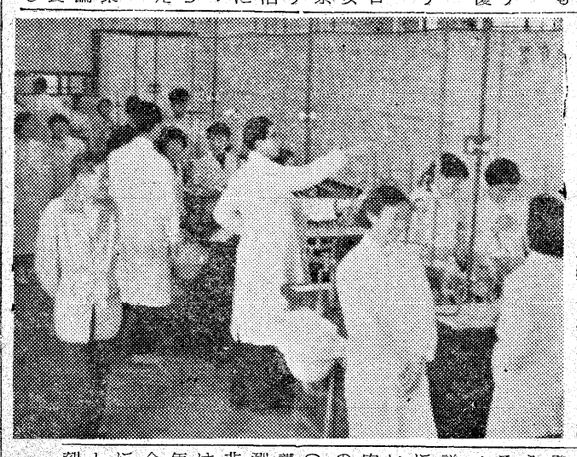
前年度は川崎静子氏の賛助を得て第一回合唱発表会が盛大に開かれたが、今回はそれに続いての第二回発表会である。

音楽部員は定期練習の水土曜の他に日曜も返上し最後の仕上げに全員余念がない。

なお入場料は一般百円、学生八十円である。

黒づくめの薬専スタイル





テーマの選択について

好評だった講演会

次に見る角度を変えて細部より○…発表内容の難易について

内容が難かしすぎるというのが圧倒的である。これは学術祭の目的を一般市民の薬学啓蒙と言う点に置いた場合の見方であり、最低線を行くのでは意味がないのであって ここに一般向発表、専門家向発表と二本立てにしたらどうだろうと言う意見の根拠がある訳である。この事は将来是非考慮されるべき問題である。これに関連して説明の事であるが学外では全般的にもう少し積極的に説明してもらいたかったという意見が多く、学内では逆に簡単にしてくれと言うのもある。

○…催し物について

講演会は好評で今年行った南極観測の永田隊長、荒木弘氏の講演も非常に評判が良い。是非来年も続けよの声が大きい。反省として今年度は講演会の終了時刻を各展示会場の閉場時刻が一致していた為に各会場とも閉会間際に相当混乱した。故に催し物を行う場合の時刻、時間の割ふりに一考を要する。

【写真】当日の展示会風景

▽…A「学術祭、体育祭が終ってやっと落着いてきたと思ったらもうすぐ夏休みだね」

B「早いなあ。夏休みの計画を立てて見たかい？」

C「いやまだー。夏休みに一寸部で実習をやってハイキングでも行ってそれから故郷へ帰ってしばらく静養します。だけど四年生はもうそろそろ就職試験の準備をしなければならないんでしょ。」

B「うん。今度が最後の夏休みだから病院か試験所に行っても見たいし、又過去三年間学んだ事を整理もしたいんだ」

A「僕は又バイトをやります。

去年は面喰いましたね。テストは十月だと思ってたら九月二十四日頃からと聞いてアウトでしたよ。授業が始ってから試験まで本当に夢中でした」

B「試験勉強もいいけど、とにかくくんなにまとまった休みはないのだからその点よく考えて有効に使わなきゃやめた方」

▽……A「毎時間出席をとりにくるのに対してどう思う」

E「俺は出席をとってもとらなくてもどちらでもいいが出席をとってもとらなくても無駄だということは解だろう。

○…テーマの選択について

現在では各部のテーマは学生の自由研究により決められているが、心配されるのは学生が自分達の能力以上に背伸びをしてはいないかと言う事である。おまけに正課の余暇を利用しての研究なのだから大した事は期待出来ないと言われるのも尤もである。それに現段階では余りにも学術に頼りすぎていて、文献と異ったデータが出ると自説をすぐ曲げるというような自信の無さである。だから能力相応のテーマの選択を心せねばならない。

寝言

▽……A「学術祭、体育祭が終ってやっと落着いてきたと思ったらもうすぐ夏休みだね」

A「そうだよ。これが日本の教育制度の大きな欠点だと思うんだ。むさ苦しい室に大勢詰めこんで講義をしてしかもその中から本当にものになるのはごく少数、まるで暗闇の中から何か探るものを探し出そうとするようなもんだ」

D「それに教室内が騒々しくて落着いた雰囲気も流れないし、講義の途中で後方では新聞を見たり、雑誌を読んだり、舟をこいだり、出いて行く者、入ってくる者、全くなっていないこれも無理に出席をとるためだと思う。」

A「出席をとってからすぐ退室するなんてのは一番きたない。男らしく最初からサボればいいんだ。」

D「もう少し学生がしっかりしなきゃやめた方」

▽……A「四年生の修学旅行が近ずきましたね」

B「うん。七月一日から約十日間だ。今年は三十一名行く。図館で解散するそうな」

A「旅の恥は…なんてやらないでゆっくりと楽しんで行ってらっしゃい」

体育部ニュース

女子部

団体戦で全勝

＝庭球部＝

春期薬連リーグ戦

五月二十四、二十五日東邦大にて行われ、団体戦で全勝。

東薬3―1明薬

東薬3―2東邦

東薬3―1共薬

東薬3―0昭薬

東薬3―1明薬（田無）

卓球部

関東学連春季リーグ戦

第五回戦　於日本女子体育館

東薬4―3日本女子大　二位

全関東理科系卓球大会個人戦・六月二十一日ダブルス　二十二日シングルスが理科大学体育館で行われる。

薬連敗者復活で優勝

＝排球部＝

春期薬連リーグ戦

六月二日東邦大学にて行われ、東薬盛勝

予選

昭薬2―1東薬

敗者復活戦

東薬2―0田無

東薬2―0明薬

トーナメント

東薬2―0東邦

決勝戦

東薬2―0昭薬

関東学連春季リーグ戦

教育大2―0東薬

東京女短体育大2―0東薬

日本体育大2―0東薬

学芸大2―0東薬

御六月十五日日本女短体育大と一、二部入替戦が行われる。

男子部

学連三部昇格なる

＝卓球部＝

学連リーグ戦（4部）

東洋大1―4東薬大

千葉大3―4東薬大

横浜市立大1―4東薬大

東京歯科大1―4東薬大

明治学院大1―4東薬大

学連3部入替戦（五月十八日）

東京学芸大1―4東薬大

△卓球部主将談

去る四月二十六日から三週で春季関東学生リーグ戦が行われました今年は三人のレギュラーが卒業し戦前かなり苦戦の予想でしたが部員一同の奮起と猛練習との結果予想以上の成果が得られました。即ち四部での完全優勝、そして短科大学中、もちろん薬科系においては最高位を獲得する事ができました。

東薬卓球部は昭和五年に創立以来この三部を目標に頑張ってきましたが、栄ある三部に私等の手で昇格する事ができました事をほこりとしております。今後はこの三部の重責を保持し二部躍進を目標として精進し頑張ります。

なお三部の学校は東大、教育大、大正大、横浜国立大、一橋大であります。今後共皆々様の御支援をお願い致します。

庭球部

学連リーグ戦（五月十、十一）

東京水産大2―3東薬大

東京農工大3―2東薬大

大正大　2―3東薬大

工学院大　4―1東薬大

駒沢大3―2東薬大

薬連リーグ戦

東薬大3―1東邦大B

〃　1―3明薬大（野沢）

東薬大3―1明薬大（田無）

〃　3―1昭薬大

〃　0―3東邦大A

〃　3―1星薬大

4勝2敗で薬連第三位となる。

野球部

学連リーグ戦

対成蹊大　一敗一分

対一橋大　一勝一分

対青山学院　一勝一分

対武蔵大　一勝

対教育大　一勝一敗

関東薬大柔道連盟結成さる

＝柔道部＝

東京関東段別優勝大会（六月一日講道館）

初段　卯木、小林一回戦で敗る

二段　小畑、吉村一回戦で惜敗

三段　若林一回戦で不調のため優勢ながら敗る

関東薬科大学柔道連盟が結成され会長は大井（東薬）、副会長は竹中（東北）、鈴木（昭薬）と決った。早速春期リーグ戦を東薬で行い本学は全勝優勝をした。

一位　東薬大

二位　東邦大

三位　昭薬大

なお柔道部OB会が結成された。

バレー部

薬連リーグ戦

東邦0―2東薬大

昭薬0―2東薬大

明薬―東薬（不戦勝）

明薬2―1東薬大

☆　☆

帯下治療に　トリコマイシンK錠
帯下治療に（健保適用）　トリコマイシン膣錠
水虫その他白癬菌症に（健保適用）　トリコマイシン軟膏
カンジダ症に（健保適用）　トリコマイシン内服錠
〔文献〕お申込次第送呈します
日本で初めて
技術の海外進出！
大阪市東区道修町　藤沢薬品

お気に召す調髪
Barber Okubo
東薬大御指定　専前

実習器具
文房具全般
有限会社 新光理化学商会
代表 脇正
東薬大地下

皆様の
校内食堂
日本料理・中華料理・西洋料理

毎度有難とうございます
更科そば
嘉津味屋
東薬大裏口際

つも皆様の気持にピッタリ合つたデザインノ純手縫靴ですから堅牢さも絶対保証付きです。靴は東薬指定店で造りましょう。
☆修理は責任をもつて確実に引受けます☆
シドニー製靴
中野区橋場町（保健所前）
出張所東薬大構内

みんなまっ白…
エクリン
螢光染料
白地は雪のように真白に……
色柄物は一層あざやかに……
木綿・麻用￥60・100・200　ナイロン絹毛用￥100
ホワイトシール
水晶脳本舗　エステー化学工業株式会社